

# 地域だより

登別市市民憲章推進協議会事務局

☎ 1530

市民憲章推進協議会の活動を紹介

## 聞こえます地球から…温暖化の叫びが…

～小さくても市民憲章推進協議会の善意は地球を守り、  
地域の緑を支えています～

公益社団法人北海道森と緑の会の『春期緑の募金活動』が4月15日からスタートしました。

市民憲章推進協議会も、事業計画の一つとして市内の諸団体に呼び掛けて毎年実施していますが、今回は昨年より減少し、5団体が参加しました。募金額は約17万円でした。この募金額の35%は森と緑の会に送金し、50%は取り扱い団体へ還元。15%は市民憲章推進協議会の活動費に充てられます。

今回の東日本大震災を考慮し、例年開催の札幌での街頭募金活動出発式を自粛しましたが、この事業が間接的には『被災地の復興支援（森林整備・緑化）に活用されるとの趣旨を踏まえて実施を決定した』との森と緑の会からの文書案内を受け、当会も計画事業どおり取り扱うことにしました。

今回は美園町会子ども育成会が初めて事業に加わり、5月7日にイーストショップ前で募金を呼び掛けました。

育成会担当の楠葉仁三郎さんは、「大震災募金の直後でしたが、想像以上の募金額にびっくりした」と話していました。集まった3万2,118円の募金額の50%は貴重な活動財源となります。



▲初めて緑の募金活動を体験し、街頭で募金を呼び掛けた美園町会子ども育成会の7人のお子さん



交通安全を祈願して…

登別市老人クラブ連合会の女性部では、還元金を活用して、交通安全の祈願用のマスコット人形作成の材料費に役立っています。

毎年7月に開催のジャンボ検問街頭啓発運動のときに、登別市交通安全協会に提供しています。

「7回目の今回は210個作成した」と女性部の清水榮子さんが話していました。



▲歴代のマスコット人形